

< 小学校特別活動部会 >

研究主題

「児童の自主的な生活態度の定着を図る個に応じた指導の充実」

－ 学級活動(2)における安全に関する事項の学習を通して－

研究の概要

平成 15 年度の研究開発委員会では、特別活動の目標を達成するためには、児童の活動をその目標に照らし合わせ、実現状況を評価し、的確に指導をすることによって児童一人一人に確かな学力を身に付けさせることを基本に、特別活動において育てたい力を明らかにし、「指導と評価の一体化」を進めて、学級活動(1)における評価を生かした個に応じた指導の方法を研究してきた。

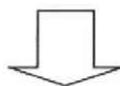
今年度は、児童を取り巻く環境を鑑み、児童をねらった誘拐や連れ去り、性犯罪など犯罪被害の防止、万引などの非行防止を題材とした健全な生活態度の育成を、児童が自ら生きる力を育てる上で欠くことのできない課題であるととらえて、これらにかかわる学習を学級活動(2)を通して研究し、題材を開発した。

I 研究の目的

集団思考を通して児童が自らの生活にかかわる実践目標を自己決定する学級集団の話合いなど、児童の自主的な生活態度の定着を図る個に応じた指導の充実を図り、特別活動の目標の達成を目指す研究開発を進める。

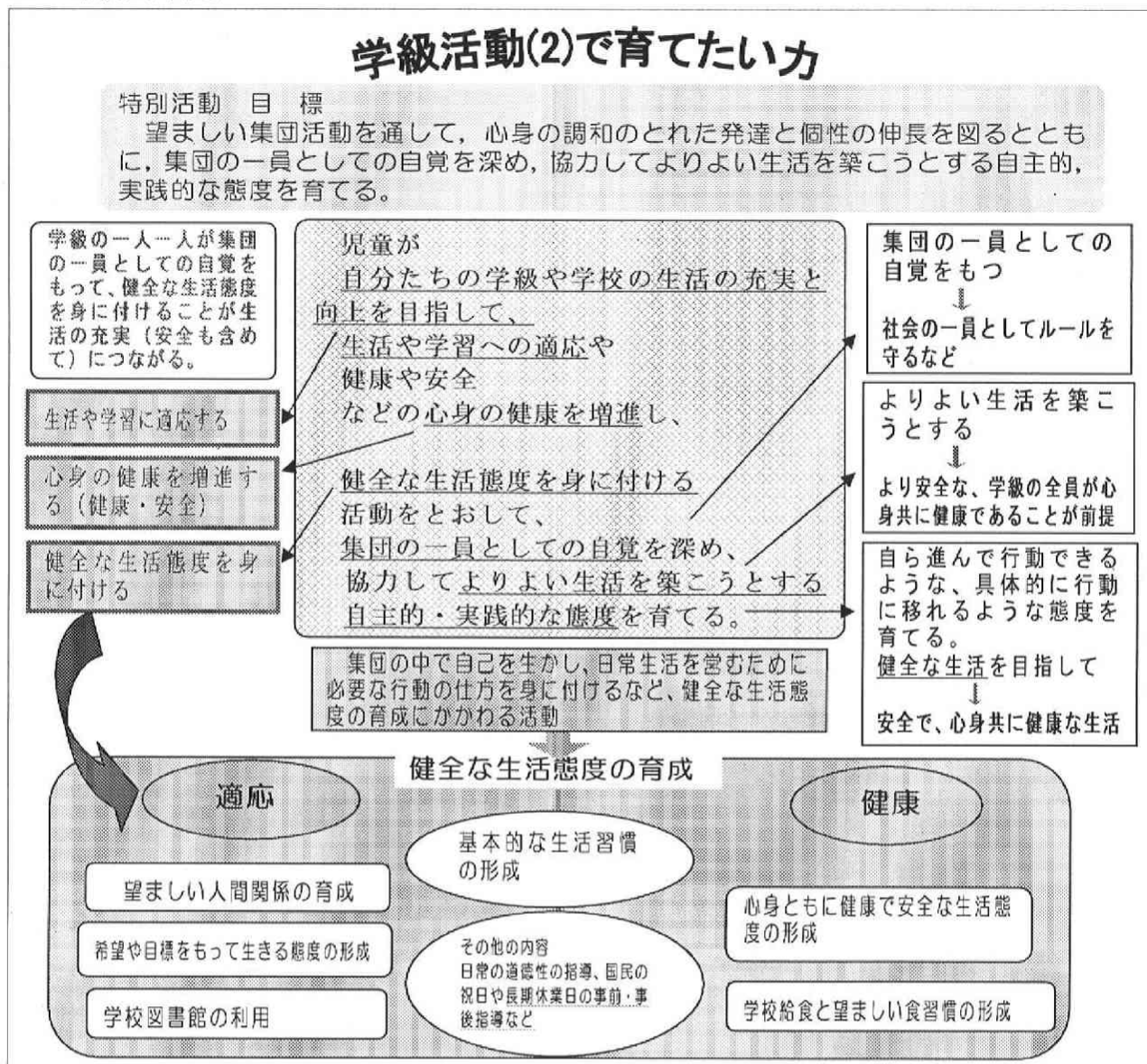
II 研究の方法

- 1 前年度までの研究における「指導と評価の一体化」の考え方を基に研究開発を進める。
- 2 特別活動の目標、学級活動の特質に基づく授業を基本として研究開発を進める。
- 3 学級活動(2)の特質を明らかにし、適切な指導の在り方を追究する。
- 4 常に児童の具体的な姿に基づきながら研究開発を進める。



- (1) 学級活動(2)において、児童にどのような力を育てればよいのかを明らかにする。
- (2) 学級活動(2)の内容(オ)「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」にかかわる具体的な指導事項を明らかにする。
- (3) 各学年における「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる指導内容の系統性や題材設定の在り方を明確にし、年間指導計画への効果的な位置付け方を明らかにする。
- (4) 「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる指導内容について、校内の指導体制や地域社会の教育力を生かした指導組織の在り方を明らかにする。
- (5) 「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる題材について、効果的な指導の在り方を明らかにする。
- (6) 「安全に行動できる能力や態度の育成」の指導内容について、「指導と評価の一体化」の在り方を模索し、個に応じた指導の充実を目指す。

Ⅲ 研究の内容



1 学級活動(2)の特質と育てたい力

特別活動の目標は、「望ましい集団活動の展開」「心身の調和のとれた発達」「個性の発見と理解」「社会性の育成」「自主的、実践的な態度の育成」にある。学級活動(2)では、児童の日常生活や学習及び健康や安全にかかわる共通の問題について自主的に話し合い、自分の課題解決に向かって自己決定することを通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることをねらっている。

そこで、学級活動(2)で育てたい力を、授業者が日ごろの実践を通して育てたい力として取り組んでいる内容や学級活動の目標を分析し、中央教育審議会で示された確かな学力を勘案して以下のように導いた。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ○ 生活や学習に適応する | ○ 集団の一員としての自覚をもつ |
| ○ 心身の健康を増進する | ○ よりよい生活を築こうとする |
| ○ 健全な生活態度を身に付ける | ○ 自ら進んで行動する |

2 内容(オ)「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」にかかわる具体的な指導事項

心身ともに健康で安全な生活態度の形成	
保健指導 自分の健康状態に関心を持ち、身近な日常生活における問題を自ら見付け、自分で判断できる能力や態度の育成 心身の発育・発達、心身の健康を高める生活、健康と環境のかかわり、病気の予防、心の健康 など	安全指導 自他の生命を尊重し、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、進んできまりを守り、安全に行動できる能力や態度の育成 <u>日常生活における安全</u> 交通安全 など

3 「心身ともに安全な生活態度の形成」にかかわる題材の開発

ひとたび児童が、非行をしたり、犯罪に巻き込まれたりすることで、学校が日々積み上げた教育の成果が失われてしまうことも懸念される。学級活動(2)は、児童の個性や社会性をはぐくみ、集団の一員としての自覚をもって社会に適応し、その発展向上に寄与できるような資質を高める教育活動である。学級活動(2)の「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関する内容で、非行防止・犯罪被害防止にかかわる題材を取り上げることは意義深い。

〈発達段階に応じたねらいと題材等〉

学 年	ね ら い	主 な 題 材	外部人材等
第 1 ・ 2 学 年	生命の大切さを知るとともに、身のまわりの危険について理解し、進んで自分の身を守れるようにする。	犯罪被害防止 ・連れ去り ・誘拐 ・性被害 ・恐喝被害 ・暴行被害 ・個人情報聞き出し ・万引 ・喫煙・飲酒 ・薬物乱用 ・暴行 ・恐喝 ・ハイテク犯罪 ・放火 非行防止	・警察署員 ・少年センター職員 ・スクールサポーター ・民生・児童委員 ・青少年委員 ・保護司 ・保健所職員 ・商店主 ・自治会長 ・犯罪被害者 など
第 3 ・ 4 学 年	生命を尊重するとともに、身のまわりの危険について理解し、進んで安全に行動できるようにする。		
第 5 ・ 6 学 年	自他の生命を尊重し、安全な生活のために必要なことを理解するとともに、進んできまりを守り、安全に行動できるようにする。		

4 年間指導計画への位置づけと指導体制

学級活動の標準授業時数は35単位時間であり、内容(1)の自発的・自治的活動の充実を図るためには内容(2)に充てる授業時数は限られる。したがって、仮に内容(2)に10時間充てたとしても、「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関する内容は年間1時間程度である。

したがって、各学年の年間指導計画への位置付けを明確にし、系統的・発展的な指導を行えるようにすることが大切である。また、児童の健全育成にかかわる関係諸機関との連携を深めるための校内組織の編成するとともに、他の教育活動との関連を図る工夫が必要である。

IV 指導事例

1 第2学年の事例

(1) 題材名 「きみならどうする？こんなとき！」

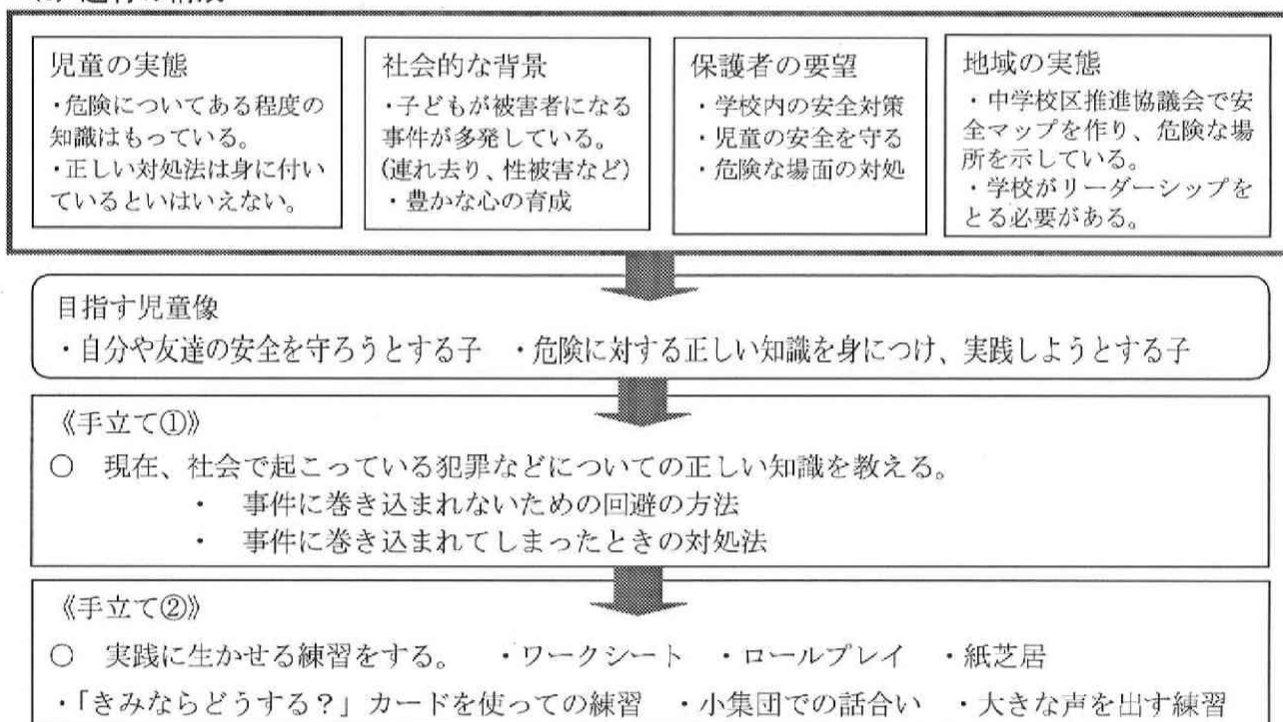
(2) 題材設定の理由

昨今、児童の生活は決して心身ともに安全なものとは言えない状況にある。不審者の学校内部への侵入、児童の連れ去り事件、変質者の出没など、児童が被害者になってしまう事件は大きな社会問題となっている。実際に学区域でも児童が変質者に危害を加えられたり、連れ去られそうになったりする事件が多発している。

このような事態に対し、何か事件が起こってから対処するだけでなく、事前に危険を予知的確に判断し、事件を自主的に回避する能力を培う指導、児童に自分の命も友達の名も同じように大切にすることができる豊かな心を育てる指導が学校に求められている。

子どもをとりまく様々な危険について理解させ、それに対する危険予知能力、危険回避能力、危険対処能力を身につけさせたい。そして、それは自分のためだけのものではないということ、自分さえ良ければいいのではなく自分と同じように周りの人をも大切にできるという心を育てたいと考えて、本題材「きみならどうする？こんなとき！」を設定した。

(3) 題材の構成



- (4) ねらい
- ① 犯罪などについて正しい知識をもつことができる。
 - ② 自分や友達の安全を守るための方法を知ることができる。
 - ③ 学習したことを今後の生活に活かそうとすることができる。

● 考察

題材について：児童はこの学習活動を通して、自分の身のまわりにある危険について再認識した。特に低学年の児童は不審者による連れ去りの被害にあうことが多く、この時期に、1単位時間を使って、不審者による連れ去りへの対応の仕方を学習することは有効である。

2 第5学年の事例

(1) 題材名 「強い心、弱い心」

(2) 題材設定の理由

少年犯罪の増加が社会問題となっている。とくに街頭犯罪に占める少年の割合が極めて多くなっている。社会全体の規範意識の低下により「万引きは犯罪である」という認識が不足している。また、窃盗、薬物乱用など、子どもたちが起こす事件が後を絶たない。このような社会的背景、保護者や地域からの要望、そして何より子どもたちが安全で豊かな生活を送ることができるようにするため、今回の題材「強い心・弱い心」を設定した。

この学習を通して、子どもたちに犯罪に対する正しい知識をもたせるとともに、犯罪に巻き込まれないための対処能力を身に付けさせたい。そして、「自分さえよければいい」ということではなく自分と同じように周りの人も大切にできるという心を育てたい。子どもたちが被害者にならないための指導だけでなく、加害者になってしまわないための指導も行っていく必要がある。

(3) 評価の観点と評価規準

育てたい力	評価の観点	評価規準
・集団の一員としての自覚をもつ	・自分や友達健康・安全について考える。	・自分や友達がどのようにしたら安全で健康な生活を送ることができるか、考えようとするができる。 (関心・意欲・態度) (思考・判断) ・身の回りの様々な危険について知ることができる。 (知識・理解)
・よりよい生活を築こうとする ・健全な生活態度を身に付ける	・犯罪に関する知識を身につける。 ・危険予知能力を身につける。 ・犯罪回避能力、対処能力を身につける。	・犯罪をおこさない、引き込まれないために必要なことを考えることができる。 (思考・判断) ・犯罪に引き込まれそうになったときどのように対処すればよいか、自分で解決方法を見いだすことができる。 (思考・判断) ・正しい解決法を知ることができる。 (知識・理解)
・自ら進んで行動する	・学習した内容を今後の生活に生かそうとする。	・自分や友だちが安全に生活するために、今後の行動の仕方を考えることができる。 (思考・判断)

【手だて①】 現在、社会で起こっている犯罪などについての正しい知識を得る。

・犯罪に巻き込まれないための回避方法、・犯罪に巻き込まれてしまったときの対処法

【手だて②】 実践に生かせるよう練習する。

・ワークシート ・ロールプレイ ・小グループでの話し合い ・ゲストティーチャーのお話

【手だて③】 学習したことを今後の生活に生かせるように確認する。


(4) ねらい ア 犯罪にかかわる正しい知識を身に付ける。

イ 万引きに誘われたときに毅然とした態度で断ることができるようにする。

● 考察

題材について:万引のような初期型非行に占める小学生の割合は決して大きくはない。しかし、初期型非行の契機は、仲間からの誘いによる場合が多い。このような事態における対処法を、共通の問題として具体的な事例を基に学習することは有効である。

(5) 本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価
つ か む	<p>○万引きに対する事前アンケートの結果を聞く。 「万引」とは、どんなことか知っていますか。</p> <p>・店のものを勝手に盗ってくること。 ・お金を払わないで商品を持って行くこと。</p> <p>「万引き」をどう思いますか。</p> <p>・悪いこと、やってはいけないこと。 ・やった人は心が弱い。 ・店の人や親に叱られるからやりたくない。</p> <p>「万引き」対策としてお店がやっていることで知っていることはありますか。</p> <p>・監視カメラ ・「中身はレジで」と書かれた見本の箱 ・角（隅）の鏡（ミラー） ・「万引き防止」の張り紙</p> <p>○「なぜ万引きをしてはいけないのか」をみんなで考える。</p>	<p>・児童の意識がどの程度かを確認する。 ・万引きという犯罪について関心をもたせるために、スーパーなどに掲示されている「表示」などの写真を用意する。</p> <p>・本時の学習内容の大切さを理解させ、意欲をもたせるようにする。 ・「見つからなければやってもいい」という考えはだめだということを押さえる。</p> <p>◇本時の学習内容を知り、学習に対する意欲をもつ。</p>
取 り 組 む	<p>○本時の学習内容を確認する。 「万引き」は犯罪です。絶対してはいけないことです。でも誘われてしまったらどうしますか。どんな態度をとったらよいか、みんなで練習しましょう。</p> <p>○ワークシートに「万引きに誘われたときなんと断るか」を書く。</p> <p>○実際に万引きに誘われたときの対処法をロールプレイを通して体験する。</p> <p>①「欲しいものを万引きしてくるから買わないか」と誘われたとき</p> <p>②「一緒に万引きをしよう」と誘われたとき</p> <p>③「万引きしてこい」と命令されたとき</p> <p>○警察官から万引きについての話を聞き、誘いからの断り方を学ぶ。</p>	<p>・犯罪に巻き込まれそうな場面にあったとき、自分ならどうするかを考えさせる。 ◇自分も犯罪に引き込まれる可能性があることに気付く。 ・人間関係を説明し、最初は普通の会話をするよう、また、照れてふざけてしまわないように指導する。</p>  <p>・「万引きの怖さ」「被害の実情」「断るときの毅然とした態度の大切さ」を話を依頼する。</p>
ま と め る	<p>○今日の学習のまとめをする。 「学習でわかったこと、実際に誘われたときどうするかなどワークシートに書きましょう。」</p> <p>・万引きは犯罪なんだということがよくわかった。 ・だれに誘われても絶対万引きなんかしない。 ・自分一人でどうしようもなくなったら、大人に相談する。</p>	<p>◇今日の学習を今後の生活に活かしていこうとする意欲をもつ。</p> <p>・自分の思ったことが書けるようにさせる。 ・発表をさせるときは、なるべく強制しない。</p>

学習活動について：万引に誘われた際の対処法をロールプレイをとおして学んだ。誘う役を児童にさせることは不適切であるため他の教師に依頼した。初めての事態への対応について多くの児童が真剣に考えていた。また、現役警察官の実際の話は、児童の心に響き、今後の行動を考える上で有効であった。

3 第5学年の事例

(1) 題材名 「見えない相手」ーハイテク犯罪から自分や友達を守ろうー

(2) 題材設定の理由

ここ数年、児童を取り巻く社会環境は著しく変貌を遂げている。情報網の発達により、幼いころから多くの情報を得られるようになり、児童の成長を超える速さで、情報機材の日常化が進んでいる。毎日の生活が情報網の発展により、便利になり、人々の生活も確かに豊かになっている。その反面、一歩踏み違えると、大きな危険をもたらすことも否定できない状況である。

不審者・誘拐・万引・薬物乱用などの危険と同時に、情報通信を使った、児童の前に姿を現さない犯罪もある。新学期に多い電話による住所や電話番号の聞き出し、高学年になると持ち始める携帯電話のワン切り・迷惑メール、興味本位で見始める危険なサイト・チェーンメールなどの被害も多くなっている。ハイテク犯罪に巻き込まれないようにしようとする児童の意識を高めることも必要であると考えます。

高学年になって塾通いなどにより行動範囲が広がるため、児童に携帯電話を持たせる保護者もみられるようになった。姿の見えない相手による犯罪から身を守り、また自分自身も情報発信者になったときに責任を持てるような規範意識を高めることも、学校教育に求められている。

(3) 題材の構成




手だて〔知識〕	手だて〔態度〕	手だて〔回避能力〕
・ハイテク犯罪の実態と被害防止のための適切な対応法を理解する。	・実践に生かせるような対処法を身に付ける。 ワークシート TTの工夫 ロールプレイ ゲストティーチャーの活用 (スクールサポーター)	・学習したことを今後を生かせるように確認する。

- (4) ねらい
- ア 電話や携帯電話、コンピュータを正しく、安全に活用する方法を知る。
 - イ 身近な情報を過信せずに、物事を判断できるようにする。
 - ウ 自分が加害者側になり得ることも理解し、健全な生活を送るようにする。

● 考察

題材について：昨今「振り込め詐欺」など、相手が見えない犯罪が急増している。児童の身近にある個人情報の聞き出しや将来的に活用するハイテク機器にかかわる事件について理解し、その対処法を知ることは、健全な生活態度の育成を進める上で有効である。

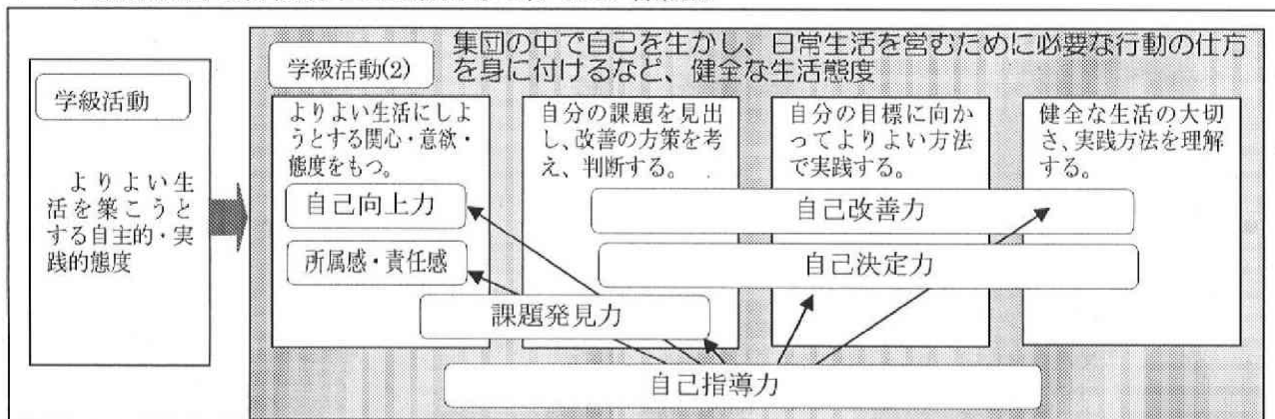
(5) 本時の展開

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 指導上の留意点 ◇評価
つかむ	<p>○本時の学習内容を知る。</p> <p>「ハイテク犯罪」という言葉を知っていますか。</p> <p>・携帯電話、コンピュータを使った犯罪。</p> <p>「振り込め詐欺」や「迷惑メール」など、大人でもだまされる電話やコンピュータを使った犯罪の事です。</p>	<p>・本時の学習内容を理解させ、意欲を高める。</p> <p>・日常生活を振り返らせ、知っていることを発表させる。</p> <p>・だれもが巻き込まれる可能性がある共通の問題であることを押さえる。</p>
取り組む	<p>○本時の学習内容を確認する。</p> <p>ハイテク犯罪は相手の姿が見えません。このことを利用して行われる犯罪です。そのために、安心して電話やコンピュータを使えないこともあります。そんなときどうすればよいかを学習します。</p> <p>二つの場面に遭遇しました。みなさんも〇〇さんになったつもりで考えてください。</p> <p>場面1 留守番をしているときに電話がかかってきました。 ○ロールプレイをする。 ・電話を切る ・教えてしまう。 ○演技をした友達の対応について、よかったところ、危険だったところについて話し合う。</p> <p>場面2 もっている携帯電話に、おもしろそうなメールが入ってきました。 ○あなたならどうしますか。 ○カードに自分の考えを書く。 ○自分の意見を発表し合う。</p> <p>スクールサポーターの方から、ハイテク犯罪についてのお話を聞きましょう。</p>	<p>もしもし、〇〇さんのお宅ですか。私は□□の父親ですが、まだ子どもが帰ってこなくて困っています。緊急連絡網をなくしてしまい、あなたの電話番号だけ分かったものですから・・・ 母親の具合が悪くなったので至急連絡をとりたいのです。クラスの人の名前と電話番号を教えてください。</p> <p>・教室外からT2がワイヤレススピーカーを使って電話をする。 ・すぐに電話を切った場合はまたかけ直す。 ・演技後は児童の役割をしっかりと解く。</p> <p>こんにちは（*o*）わたしは、ゲームが大好きな6年生の女の子です。ゼルダやマリオテニスのゲームのことお話ししませんか？お話ししてくれたら、最新のマリオのシートをあげてもいいよ。（:o:）</p> <p>・携帯電話やチャットを使っていない児童は、想像しながら書くように助言する。 ◇今日の学習を今後の生活に活かしていこうとする意欲をもつ。</p>
	<p>I 住所の開き出しについて</p> <p>① 住所や電話番号を開き出す目的 ・ダイレクトメール、空き巣、パスポート偽造、嫌がらせ → 犯罪に加担することに</p> <p>② 正しい対処法 「連絡網がどこにしまっているのかわかりません。」など</p> <p>II 携帯電話を使うとき ・知らない人からのメールは開けない ・ワン切りにはかけ直さない ・返信を打たない</p>	
まとめる	<p>○ 学習のまとめをする。</p> <p>毎日の生活に役立つシールを作りましょう。</p>	<p>・「あわてない」「すぐに話にのらない」「事実を確かめる」「人のうわさ話をしない」ことなどを再確認する。</p> <p>・自分が特に気をつけなければいけないことをシールに記す。</p>

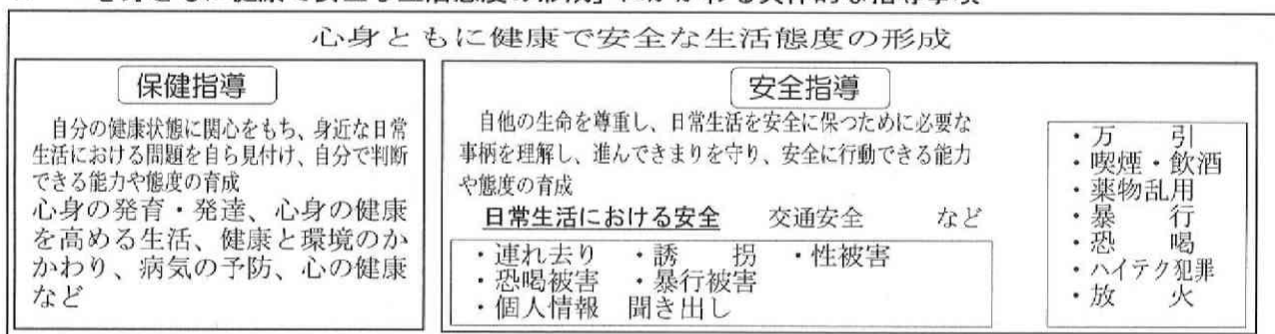
学習活動について：他の教師を犯人役にした個人情報聞き出しにかかわる臨場感のあるロールプレイは、演じた児童だけでなく、観衆の児童もその対処法について真剣に考えていた。ロールプレイの際には、終了時に役割を確実に解くことが求められる。また、スクールサポーターの話は、児童が今後、健全な生活を送る上での大切な指針となった。

V 研究のまとめ

1 学級活動(2)の評価規準と生活指導で育てたい諸能力



2 「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」にかかわる具体的な指導事項



3 「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる指導内容の年間指導計画への位置付け

学級活動(2)で取り上げる「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる内容は、年間1単位時間程度が適当である。各学年の指導内容を系統的・発展的に年間指導計画に位置付けるようにする。なお、日常の指導においても適宜、「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる指導を行うことが必要である。

4 校内の指導体制や地域社会の教育力を生かした指導組織の在り方

指導体制については、校長の指導の下、特別活動主任と生活指導主任が連携を密にして、児童を取り巻く環境の状況や児童の生活実態に基づき、適切に教育課程に位置付けるとともに、関係諸機関等との連絡調整をする担当者を配置するなどの工夫が求められる。

関係諸機関	外部人材
警察署、少年センター、児童相談所、保護観察所、少年鑑別所、教育委員会 など	警察官、スクールサポーター、少年警察ボランティア 民生・児童委員、主任児童委員、児童福祉司、保護司など

5 「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる指導の効果的な指導の在り方

効果的な指導方法としては次のようなものが挙げられる。

- ・ 提示資料の形態： 紙芝居、人形、ビデオ資料、パソコンによるプレゼンテーション など
- ・ 指導の諸方法： 話し合い、ゲストティーチャーによる説話、ロールプレイ など

6 「安全に行動できる能力や態度の育成」にかかわる内容の「指導と評価の一体化」

学習を通して児童の生活状況が安全に配慮できているか、規則を尊重しているかなどを観察などにより評価し、適宜学級全体又は個別に指導する。授業においては、児童の実態を考慮して、ねらいに基づく期待する児童の姿を想定して指導を行うことが重要である。